



まちづくりイベントの開催

# まちづくりシンポジウム 2019

～歴史資産を活かした景観形成とこれからのまちづくり～

主催：茨城県・水戸市・茨城県都市計画協会

## ■まちづくりシンポジウム2019

茨城県では、県民のまちづくりや都市景観の意識の向上を図るため、茨城県都市計画協会及び地元市町村との共催で、昭和61年度より、まちづくりシンポジウムを開催しています。

今年度は、「歴史資産を活かした景観形成とこれからのまちづくり」をテーマに、令和2年1月18日（土）に水戸市三の丸の常陽藝文センターでシンポジウムが開催されました。

当日は、茨城大学の小柳名誉教授による景観形成とまちづくりに関する基調講演と、水戸の歴史・景観などの各分野で活躍されている方々をパネリストに迎えたパネルディスカッションにより、会場に会場された参加者とともに古くて新しい、新鮮で懐かしい水戸の景観・風景とこれからのまちづくりについて、考える良い機会となりました。

また、県内のまちづくりや景観等のモデルとなる団体や取組を表彰する第2回チャレンジいばらきまちづくり表彰が行われました。

### ○基調講演「景観形成とまちづくり」

講師 小柳 武和 茨城大学名誉教授

#### (概要)

#### 話題1 景観まちづくりの意義と課題

- 景観まちづくりの目指すもの（意義）
  - ・住民の心の豊かさ、安らぎなどの体験
  - ・おらが町のアイデンティティと誇りの自覚
  - ・景観的名所および賑わいの形成
- 景観構成要素から見た景観まちづくりの課題
  - ・地域やまちの特性に応じた景観形成
  - ・みんなのための、みんなによる景観形成

#### 話題2 景観まちづくりのヒント

- 景観まちづくりの7つのヒント
- 名所図会に見る景観構成
  - ・景観的名所の要件（ABC）
    - Amenity（アメニティー 快適性）
    - Beauty（ビューティー 美観）
    - Communication（コミュニケーション 交流・情報）
- 景観形成の事例
  - ・岩手山の眺望保全と盛岡の景観形成
  - ・歴史的景観保全事例 ベルガモ、ヴェローナ（イタリア）

#### 話題3 水戸市の景観まちづくりのヒント

- まちの顔をつくる
- まちを回遊し、味わう機会をつくる
- 地相を読む、水辺を活かす
- 郷土への誇りと愛着が街並みをつくる
- + 情報発信（イメージビリティの形成）

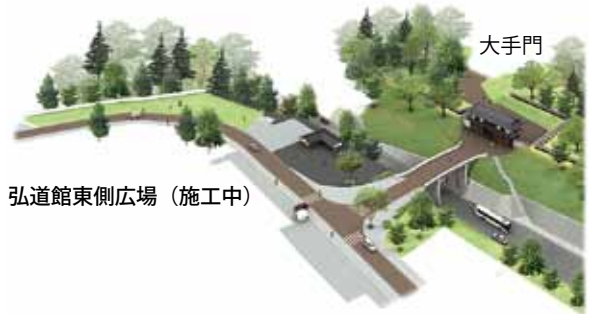


小柳 武和 茨城大学名誉教授

### ○事例紹介

#### 「歴史資産を活かした景観整備の取組み」

水戸市市街地整備課より、大手門・二の丸角櫓の復元や水戸駅北口のお休み処など、歴史資産を活かした景観整備の取組みについて紹介されました。



弘道館東側広場（施工中）

大手門に隣接する弘道館東側広場



水戸駅北口ペDESTリアンデッキ

水戸駅北口ペDESTリアンデッキから眺望した二の丸角櫓（想定図）



○パネルディスカッション

「歴史資産を活かした景観形成とこれからのまちづくり」

コーディネーター (敬称略)

小柳 武和 茨城大学名誉教授

パネリスト

三上 靖彦 (株)ミカミ代表取締役  
 首藤 敦子 (株)絵になる水戸プロジェクト代表  
 小畑 のり子 弘道館事務所 主任研究員  
 高橋 涼 水戸市都市計画部長



パネルディスカッションでは、各パネリストより自らの活動や体験などを通して、テーマの「歴史資産を活かした景観形成とこれからのまちづくり」についての発言がありました。

民間のまちづくり会社(株)まちみとラボの代表でもある三上氏からは、まちみとラボの活動やこれからの水戸のまちづくりへの提案などがありました。水戸のまちに人力車を走らせる活動をされている首藤氏からは、歴史的な空間の活用や観光への活かし方、情報発信の方法などのお話がありました。

小畑氏からは、水戸の城下町としての成り立ちや現在に受け継がれた歴史資産と景観についてのお話がありました。高橋氏からは、歴史まちづくり法やガーデンツーリズム、ウォークブルシティの推進など、景観やまちづくりのヒントとなる制度の紹介がありました。

会場の参加者からも活発な意見が寄せられ、充実した議論が交わされました。



三上靖彦氏



首藤敦子氏



小畑のり子氏



高橋涼氏

○第2回チャレンジいばらきまちづくり表彰



<チャレンジいばらきまちづくり大賞>

○合同会社 古河鍛冶町みらい蔵  
 『古河「今城蔵」保存活用まちなか再生事業』



<優秀賞>

○まちづくり市民グループ しもつま3高  
 『プレイスメイキングを取り入れたコモンスペース協創活動』



○潮来市  
 『津軽河岸跡周辺整備事業』

